



西ノ京

学校教育目標 「心豊かで しなやかに 生きる力 の育成」

京都市立西ノ京中学校

学校だより ⑫

令和6年(2024)3月18日

校長 藤井 泉

祝

第75回 卒業証書授与式

令和6年3月15日(金)暖かな春の日差しの中、令和5年度西ノ京中学校第75回卒業証書授与式を挙行了しました。145名の生徒が西ノ京中学校を巣立って、4月からは、それぞれの進路に向かって旅立ちます。温かな雰囲気の中で、卒業生を送り出せたことを嬉しく思います。皆様には、三年生代表生徒による答辞をご紹介します。卒業証書授与式の報告とさせていただきます。

答辞

通り慣れた通学路では、冬を乗り越えた猫たちが暖かい日差しを浴びています。そんな今日の良き日に、私たち145名は卒業します。



今、ふと目を閉じると西ノ京中学校で過ごした三年間の思い出が、次々と蘇ってきます。

着慣れない通学服に身を包み、これから始まる中学校生活に期待と不安を抱きながら、門をくぐった三年前が、つい最近のことのように感じます。

私はこの三年間で「感謝 命の大切さ 当たり前」、この三つを強く感じました。

二年生の時に行ったチャレンジ体験では、それぞれの職場にいき、仕事の難しさや、やりがいを学びました。また、私たちは周りの人々に支えられて生きているということへの感謝の思いを感じていました。

三年生での二泊三日の福岡への修学旅行。民家さんと見に行った螢、柳川下り、門司港での自由行動、帰りの新幹線が大雨で足止めしてしまったことまでもが、私たちにとって大切な思い出になりました。しかし、思い出は楽しいものばかりではありませんでした。太刀洗平和記念館で行った平和セレモニーでは、戦争の悲惨さや平和の大切さを知りました。特攻隊について知っていく中で、私たちと同世代の子たちも特攻隊に行かなければならない状況があり、普通の生活をしていたたくさんの人々までもが戦争で亡くなってしまったんだということを実感しました。そして、私たちには今を一生懸命生きる必要があり、後世にも戦争の恐ろしさと命の大切さを伝える責任があると思いました。

コロナ禍が明け、合唱祭や体育祭も、昨年度までとは違った形で実施し、新しい伝統をつくることができました。

合唱祭、中学校生活で初めて全学年が体育館に揃い、保護者の方にもみてもらうことができました。うまくいかないこともあったけど、クラスで一丸となって素晴らしい合



唱を完成させることができました。学年合唱では学年全員で歌える喜びを味わいました。

体育祭は色別対抗で行い、どのクラスも力を合わせ、全力で競技に取り組みました。綱引きではクラスで心が一つになったり、また、応援を通して学年を超えた団結力がより強くなったように感じました。

先日行われた三年生を送る会で、全校生徒で「群青」という曲を歌いました。この曲は、東日本大震災で被災し、離れ離れになった仲間を思って書き留めた言葉を基に作られた曲です。歌詞にはこんな言葉があります。「当たり前が幸せだと知った」当たり前仲間とともに過ごせた三年間が、実はかけがえのないことで幸せだったのだと改めて気付きました。

そんな三年間を共に過ごしてきた仲間達。最高の中学校生活をありがとう。私にとって自分のクラスは居心地がよく、卒業したくないと思う気持ちもあります。こんな風に思えるのもみんなのおかげです。「西ノ京中学校75期生でよかった」と心から思えるような友達に出会えて幸せでした。

在校生の皆さん、これからは皆さんが西ノ京中学校の伝統を引き継ぐと同時に、新しい道を切り拓いていく番です。上手いかわない時は仲間や先生方などの近くにいる人が助けてくれます。だから安心して思いきって楽しんで、たくさんの方に挑戦してみてください。

教職員の方々、三年間ありがとうございました。この三年間は例年通りにいかないことがあったり、一度なくなってしまった行事を復活・再生する機会が多く、大変だったと思いますが、今できる精一杯のことを私たちのためにしてくださり、ありがとうございました。また、進路決定は私たちにとって初めての大きな決断で、わからないことが多かったのですが、先輩方の助言のおかげで自信をもった進路選択ができました。

最後に、一番近くで支えてくれた家族、本当にありがとう。時に冷たい態度をとってしまうこともあったけど、無事にこの日を迎えられたのは家族のおかげです。毎朝のお弁当、雨の日の塾への送り迎え、日々のサポートによって様々なことに挑戦する勇氣を持てました。

今日、私たちは義務教育を終え、新しいステージへの一歩を踏み出します。これからたくさん迷惑をかけると思いますが、私たちの成長を見守ってください。

私たちは西ノ京中学校を卒業して、それぞれ別々の道を歩み始めます。正直、もっと仲間や先生方と、いつもみたいに他愛もないことで笑いあっていたいです。でも、今、旅立ちの時を迎えます。生徒会スローガンの「誠」の心を胸に刻み、私たちは、新たな道へと歩き出します。

皆様の幸せと西ノ京中学校の益々のご発展をお祈りし、答辞といたします。

令和六年三月十五日 卒業生代表

輝かしい未来と活躍を祈念して…

卒業生には、夢を描き、その実現に向けて一步一步、歩んで欲しいと言うことをお願いしました。また、誰にでも可能性があること、興味のあることに探究心と強い信念を持って取り組み、夢の実現に向けて努力することが大切であるということも伝えました。そのために、希望を持って多くの人と出会い、大いに学び、時には悩んだり、迷ったりしながら、たくさんの経験を重ねることを通して力強く未来を切り拓く力を身につけて欲しいと思います。

また、「学ぶ姿勢」を持ち続けることの大切さについても話しました。学校を卒業しても、そこで学びが終わるわけではなく、人生が続く限り、誰もが夢や目標の達成に向かう通過点に立っており、成長することができると考えるからです。その成長の過程で、様々な角度から考える力や何を選択すればよいのかを判断する力、周囲と対話する力など、これからの社会を生きるために必要な力を身に付けて欲しいと思います。

★★★ 3年生を送る会 ★★★

卒業式を控えた3月12日(火)3・4限に、3年生を送る会を実施しました。部活の後輩からは、3年生に向けたメッセージが映像で伝えられました。1・2年生は、群読によるメッセージや合唱で、3年生の先輩たちへ感謝の思いを伝えました。また、3学年で取り組んだ全校合唱は、圧巻でした。3年生からも、1・2年生に向けて感謝の気持ちを込めた合唱が披露されました。「一生懸命はかっこいい!」を体現して見せた3年生から、1・2年生に西ノ京中学校のよき伝統のバトンがしっかり受け継がれたと感じることができた取組となりました。



◆◆◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆

★退職・離任教職員の発表は、3月25日(月)午後、校内掲示板および学校ホームページにて発表します。また、離任式は3月28日(木)11:00から、西ノ京中学校にて行います。

★始業日 4月8日(月)

8:35 新クラス発表 着任式、始業式、学活など

令和5年度の「学校だより」はこれが最終号となります。一年間、本校の教育活動に賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。至らぬこともあるかと存じますが、これかも、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。